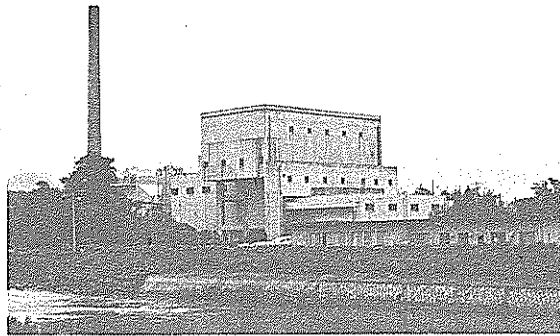


みんなの努力で 美化推進は

香南清掃組合焼却場



現在、南国市内のごみの収集は全て業者に委託。可燃物、金属類、金属類以外の三種類に分けて、六百二十五カ所のごみステーションを設置し、可燃ごみについては週二回、金属類については月一回（大篠、久礼山、岡豊、三和は二回）、その他の不燃物については月一回収集しています。一日当たりの処理量は可燃ごみ約二〇ト、金属類約三ト、その他の不燃物約八トですが、処理場の現況はどうなっているのでしょうか。

処理場の現状

九年に南国市、土佐山田町、野市町、赤岡町、香我美町、吉川村が共同で香南清掃組合を設立、南国市廿枝に焼却場を設置しました。施設の耐用年数はあと三年。また、金属類については、収集業者による再生処理が行われていますが、金属類以外の不燃物については片山の不燃物埋め立て地処理で処理。現在の状態では六十四年度中にも限界に達する見込みです。

ルールを守って

美化に一役

市内には、可燃物のみ三百九カ所、金属類とその他の不燃物五十七カ所、両用二百五十九カ所のステーションが設置されていますが、分別が不十分である。
○ごみを出す日時を守らない。
○可燃ごみについて指定のごみ袋を使用しない。
以上のような問題が、特に人家から離れていたり、転出人などが多い住民のつながりが薄い所で見られます。
これらによって、
○焼却ができないまま土佐山田町

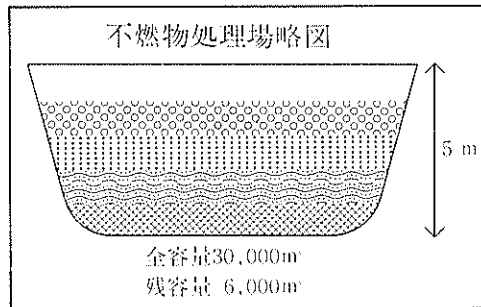
雪ヶ峰へ焼却灰とともに埋め立てられる。
○収集後の分別が必要。
○再資源として利用できるもの（瓶類など）も片山の不燃物埋め立て地へ埋め立てられる。
このように、結局は処理場が限界に達するのを早める一因にもなっています。またステーションが汚れ、近隣の家庭に迷惑をかけることもあります。これらの問題は各自がルールを守れば防げるのではないのでしょうか。

実施計画の紹介は休みます。

ステーションを回る回収車



集積場所に置かれたごみ



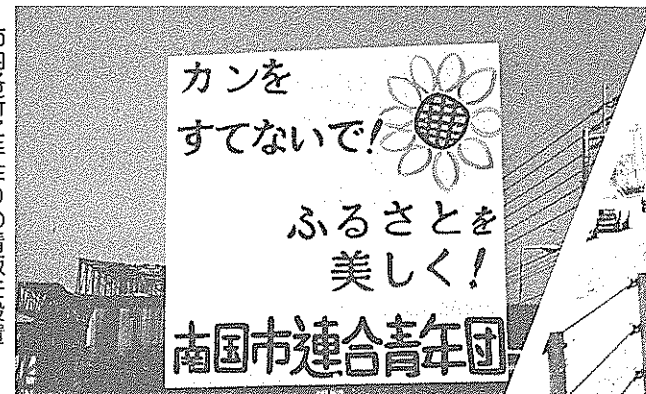
干屋崎不燃物埋立処理場

快適な環境を 日常生活から



次々と不燃物処理場に運び込まれる空き缶や空き瓶

市内各所に手作りの看板を設置



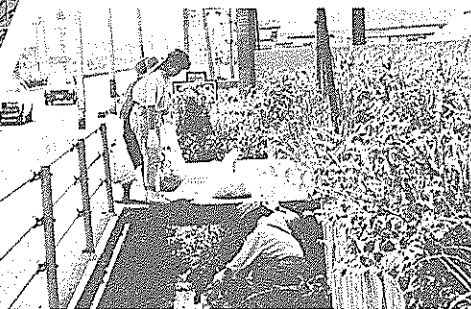
職員の手で回収される不燃物

六月五日に市民約八千人が参加して市内の一斉清掃が行われました。
これは、六月五日から十一日までの環境週間毎年実施しているもので、老人クラブや婦人会などが早朝から道路や空き地の清掃を行いました。
この日、片山の不燃物処理場に集められたごみは2トトラックに五十台分。空き缶や空き瓶、生活

用品などがほとんどでした。
また、午後からは市連合青年団の皆さんが南国バイパス沿いを清掃し、市内の各所に「ふるさとを美しく」と書いた看板を設置。環境美化のPRを行いました。
美しい環境の下で暮らしたいのはだれでも同じはず。『拾う』ことよりも『捨てる』ことを心がけていきたいものです。

市民総出で一斉清掃

南国バイパス沿いを清掃する青年団員



朝早くから町内の清掃（後免町）